

## 2019 年度学生向け技術・安全講習会について

### 1) 機械センター部門

機械センター部門では、7 月 3 日（水）13:00～17:00 理工学図書館 4F コンピュータ演習室 A にて「3D-CAD セミナー」を実施した。

本セミナーは桐生キャンパスの学生を対象とし、学内に導入されている 3D-CAD (SolidWorks) の操作技能を習得することを目的に開催した。講義内容は 3D-CAD 上での部品モデル作製、アセンブリ、図面作成の 3 セクションとした。さらにスマホスタンドをモデルとした課題に取り組み、3D モデルと実物両方の組立てを行うことで、CAD 設計から実際のモノづくりまで一連の流れを体験できる内容とした。

今回学生が得た 3D-CAD の知見は、実験で用いる装置・治具設計に活用可能であり、学生の研究推進に大いに役立つと考えられる。今後も要望があれば講義や各研究室のゼミの一環として開催していく予定である。

(文責：三ツ木)

### 2) 機器分析部門による講習

機器分析部門では、4 月 24 日（水）14:20～16:00 大講義室にて「化学物質の安全・安心取扱の初歩としての化学物質のリスク評価と廃液集荷に関する講習」を実施した。今年度も 1. リスク評価、2. 廃液集荷、3. 廃液処理、事事故例等について、機器分析部門の技術職員ならびに廃液処理を委託している株式会社ミヤマからご講演いただいた。受講者は、学部 3・4 年生 171 名、大学院生 49 名、教職員 1 名の総勢 221 名と昨年よりも増加し、大盛況であった。受講者からは有益な情報を得ることができたと概ね好評であった。今後も安全で安心な研究活動の一助となる様、内容をより充実させ続行する予定である。この場をお借りして、ご協力いただいた教職員の方々に感謝申し上げます。

(文責：石原)

### 3) 情報電気部門による講習

情報電気部門では、6 月 26 日（水）14:20～15:50 電気特別実験棟 201 室にて「ハンダ付け技術講習」を実施した。

今回は、定員（20 名）中 17 名（学部生 10 名、大学院生 7 名）の応募があった。

講習は、ハンダ付けに関する講義が 20 分程度、その後線への付け方や電子回路の作製（メロディ IC 利用のオルゴールキットの製作）という流れであった。

講習会後のアンケートにおいて受講者からは、指導が丁寧だったなど概ね好意的な意見が多く見られた。

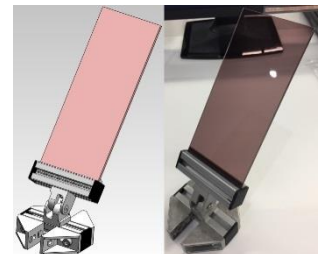
一部に、講習会の周知が徹底されていなかったとの指摘があったので、次年度は周知について漏れのないように行いたいと思う。

ご協力頂いた皆様方に厚く御礼を申し上げます。

(文責：横尾)



機械センター部門の講習会



スマホスタンド



機器分析部門の講習会



情報電気部門の講習会

群馬大学理工学系技術部の 1 年間の活動をまとめた

「技術部報告集」を今年度より技術部 Web サイトにて公開を致しました。

活動報告 - 技術部報告集 URL : <https://www.tsk.st.gunma-u.ac.jp/transaction.html>

## 令和元年度 高圧ガスボンベ講習会（第1回）

令和元年度高圧ガスボンベ講習会（第1回）が令和元年6月5日（水）16時から大講義室にて開催され、講師に機械知能システム理工学科の志賀教授を迎え、合計160名の学生および教職員が参加した。

桐生キャンパスでは、約300本以上の高圧ガスボンベを貯蔵しており、保安教育のため年2回講習を行っている。まず第1回が今回の座学での安全教育講習会であり、第2回は11月頃に開催している高圧ガスボンベの取り扱い（実技）講習会である。ガス会社の専門の方を講師として招き実際に調整器の取り扱いなどを行う。こちらの実技講習も大変ためになるため是非とも参加いただきたい。



高圧ガスボンベ講習会 学年別内訳

学部生				院生		ドクター	
1年	2年	3年	4年	1年	2年	1年	2年
			117	16	9		1

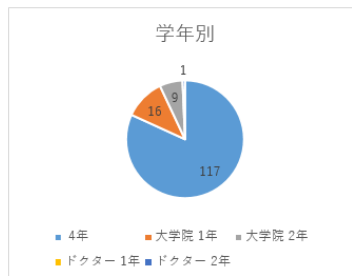


表1 学年別参加者人数

表1に示すように、2年3年の参加者がいない結果となった。その理由としては、研究室配属の学生は実際に高圧ガスボンベを使用する機会もあり、先生の指導のもと講習会に参加したと考えられる。今後の課題としては、2年、3年にもぜひ参加していただけるような講習会運営を考えていきたい。

（文責：齋藤）

## 科学研究費補助金（奨励研究）に採択されました

情報電気部門 高橋洋平技術職員の申請課題「家庭用水道管向け超小型水力発電機の開発」が、日本学術振興会2019年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）奨励研究に採択されました。

### 技術部ニューフェイス紹介



八木 晃代  
機器分析部門

皆様のお手伝いをしながらスキルアップを目指します。宜しくお願い致します。



坂本 広太  
機器分析部門

機器分析を介して、皆様の研究に貢献できるよう尽力していきます。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



星野 由紀  
機器分析部門

培った経験を活かして貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

### イカガシ 日っ鍛金練



皆さん、こんにちは。マシンショップの鈴木です。今号より不定期ではありますが、技術に関する話題や情報を発信できたらと思っています。さっそくですが、マシンショップからのお知らせがあります。昨年に利用者からの要望もあり、小型のドリル研磨機を導入しました。既にある大型のものよりも簡単に操作できます。ドリルは、鉛筆のように欠けても磨けば再使用が可能で、摩耗したもの、欠けたものを使い続けることは大変危険です。だからと言って使い捨てるにも、コストの問題があります。もし、ドリルの切れ味が悪いと思ったときは、使用条件がありますので一度マシンショップにご相談下さい。

（タイトル・ロゴ：西脇）

マシンショップのホームページ <https://machine-shop.st.gunma-u.ac.jp/>